

今庄宿プロジェクト 募集意見の概要

1 実施期間

平成25年4月25日～平成25年5月17日

2 周知方法

- ・ 区長配布による町内全戸配布
- ・ 今庄地域小中学校における配布
- ・ 町ホームページへの掲載
- ・ 南越前町CATV文字放送掲載

3 意見募集方法

郵送、Email、FAX、持ち込み

4 実施結果

(1) 応募件数

113件	
① 今庄地域小中学生	78件
② ①以外	35件

今庄宿のまちなみについて ご意見を募集します



今庄宿プロジェクト ～次の世代に引き継ぐ～



◆ 今庄宿プロジェクトとは
今庄宿は伝統的民家群保存活用推進地区に指定されるなど、福井県を代表する観光拠点となることが期待されています。魅力ある歴史・文化・まちなみを活かし、将来にわたって人・もの・想いが行き交うまちとなるよう地域の活性化を推進する取り組みを実施します。

◆ 実施地域 今庄宿
今庄宿は、県事業の「福井県新高速交通ネットワーク活用・対策プラン」において対象地域に指定されています。

◆ 事業内容

- ① まちなみ整備事業
例：建築物改修・復元、観光散策路の整備など
- ② 誘客推進事業
例：店舗の導入、イベントの開催、まち歩きプログラム開発

実施主体：南越前町
住民主体の「観光まちなみ推進会議」で計画の策定を予定しています。

事業実施時期
・平成25年度 計画の策定
・平成26～29年度 事業の実施

**小中学生のみなさんの
アイデアやご意見をお寄せください**

当町の未来を担うみなさんの意見をまちづくりにぜひ活かしたいと思えます。小学生のみなさんは保護者の方と一緒に考えてみてください。

今庄宿のまちなみを活かすためには、どのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものをすべてに○をつけてください。

1) 古い建物を改修する	2) 空き地や空き家を活用する
3) 道路や路地を整備する	4) ライトアップや花を植えるなど街を美しくする
5) おみやげ店や飲食店など店舗を開く	6) 観光客が利用できる施設を作る
7) 今庄宿にちなんだイベントを行う	8) インターネットなどで今庄宿をアピールする
9) その他()	

□について、具体的なアイデアを教えてください。
例：②空き家を利用して美術館や写真展を開催する

□ その他、今庄宿や今庄地区がこうなってほしい、こんなことをしてほしいといった希望や夢を聞かせてください。

学校 年 名前

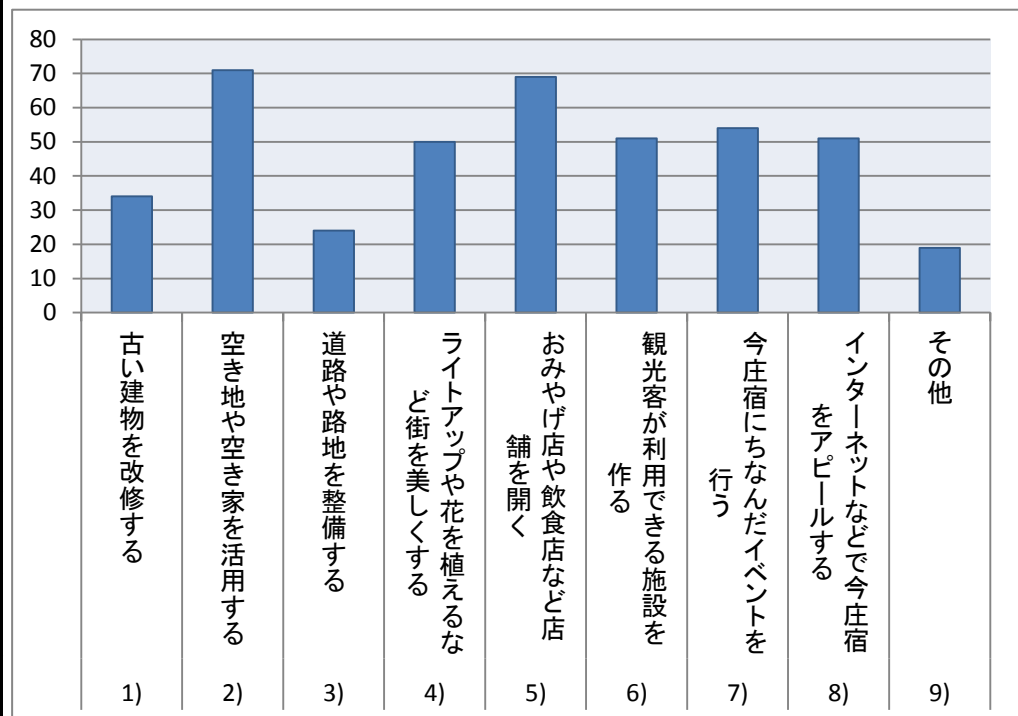
いただいたご意見に対する個別の回答はいたしませんので、ご了承ください。
記載していただいた個人情報は、提出内容を確認する場面に利用します。また、厳重に保護・管理します。
ご意見、情報の概要を公表する際、個人情報は公表しません。

提出先 今庄宿プロジェクト事務局（南越前町企画財政課）
〒919-0292 福井県南越前町東大田29-1
Tel: 0778-47-8013 Fax: 0778-47-3261 E-mail: kizai@town.minamiechi.jp

(2) 意見概要

1 今庄宿のまちなみを活かすためには、どのようなことが必要だとお考えですか(複数回答可)。

1)	古い建物を改修する	34
2)	空き地や空き家を活用する	71
3)	道路や路地を整備する	24
4)	ライトアップや花を植えるなど街を美しくする	50
5)	おみやげ店や飲食店など店舗を開く	69
6)	観光客が利用できる施設を作る	51
7)	今庄宿にちなんだイベントを行う	54
8)	インターネットなどで今庄宿をアピールする	51
9)	その他	19



9)その他記載内容

- ・ 作家の発掘など、知的環境づくり
- ・ 地域住民が主体的に、かつ継続的に活動できる仕組みの構築
- ・ 街路灯、電柱の美化
- ・ トイレの整備
- ・ 公的空間の集約
- ・ 他地域からの移住の促進
- ・ プロジェクトの支部を今庄に設置
- ・ 子どものひみつきちづくり
- ・ きれいな町づくり
- ・ 景観を損なわないような整備

- 2 1について、具体的なアイデアを教えてください。
- 3 その他、今庄宿プロジェクトに対するご意見やご要望をお聞かせください。

ア 課題

- ・ 歴史的価値の認識が足りない
- ・ 空き家・空き地が多い
- ・ 地域資源を活かしきれていない
- ・ 案内ガイド等が足りない

イ 方向性

- ・ プロジェクト全体のコンセプトが必要
- ・ 一時的なものではなく、恒久的に人がいる地域を目指したい
- ・ 子供たちが自慢できる故郷をつくりたい
- ・ 若者が定住するまちにしたい
- ・ 住民が関心を持ち、誇りを持てる地域にしたい
- ・ 住民自身が楽しめるものが必要
- ・ 最初のみ集客効果ではなく、継続して効果が出るものにすべき

ウ プロジェクトの進め方

- ・ 観光誘客という事業の前提を踏まえつつ、誰のために、どのように行うのか仮説を立てた上で、その検証調査をヒアリングするところから着手する
- ・ 事が重要ではないか
- ・ プロジェクトの進捗を地域住民に報告することで地域全体がより盛り上がるのではないか

エ 具体的アイデア

活用するものとして
多く示されたワード

- a 空き地・空き家
- b 駅・鉄道
- c 酒
- d 歴史

施設・整備

- a 資料館
- b お土産店・飲食店
- c 宿泊施設
- d 居住施設
- e 公園
- f 標識・案内板
- g トイレ

施設・整備以外

- a 郷土料理
- b 講座
- c 体験
- d 展示会
- e イベント(復元、既存、新規)